【 文部科学省 】研究開発学校(徳育科)／コミュニティスクールマネジメント強化研究校／我が国の伝統・文化教育の充実に係る調査研究事業(実施校) ／理科観察実験支援事業
【都教育委員会】オリンピック・パラリンピック教育推進校／学校と家庭の連携推進校／教師養成指定校
【市教育委員会】武蔵村山市ＮＩＥ推進校／新教科「徳育科」推進モデル校／小学校特進講座(実施校)／ラオス・パチェドン校姉妹校

徳育科のパイオニア　コミュニティ・スクール

八小だより

武蔵村山市立第八小学校　平成２９年３月１日
http://www.city.musashimurayama.lg.jp/school/mmced8s/index.html

教育目標
◎ 考える子
○ 思いやりのある子
○ やりとげる子
行動目標
わけをそえて話すことができる子
教室で話しているのは一人

生命尊重の心と善悪の判断力を育てる

校長　牧　一彦

校庭の梅や桃の木には、白やピンクの花が咲き誇り、春の到来を告げています。今日からいよいよ3月。1年間のまとめの時期を迎えました。一ヶ月の長きにわたり続けてきたマラソン月間も終わりました。各学年で実施した持久走(マラソン)大会には多くの保護者の方々にお越しいただきありがとうございました。また地域の方々からは、多くの御支援を賜り、本当にありがとうございます。おかげさまで子供たちは、寒さに負けず元気な笑顔で毎日を送っています。

▲学校敷地内にて撮影（２月２８日）

この2週間余り、連日のように新聞紙上やテレビ報道で大きく取り上げられている事件の一つに、北朝鮮の金正男氏殺害事件があります。新聞には「実行犯はベトナム人の女2人か」「北朝鮮の大使館員が殺害に関与」「正男死因は猛毒VX」などの見出しが駆けめぐりました。またテレビでは、正男氏が襲撃されてから亡くなるまでの状況の再現映像や、その解説が繰り返し放映されました。「なぜ殺害されたのか」「誰がどうやって殺害したのか」「殺害を指示したのは誰か」などに強い関心をもっている大人たちに対しては満足のいく内容だったかもしれません。しかし、大人たちと一緒に、政治や国家のことをよく知らない子供たちが見ていたとしたらどうでしょう。私は、断片的に知り得た情報から「毒ガスで殺したんでしょ？」「生きていると都合が悪いから消されたんだ」から「いやな奴は殺してもいい」や「頼まれたら殺してもいい」など、「人を殺す」という行為を日常的な行為として扱ったり、生命を軽んじる考えに発展したりすることを危惧しています。殺害された人が人だけに、報道内容が殺害方法や犯人像に終始してしまうのは仕方のない部分もありますが、果たしてそれでいいのでしょうか？亡くなった方が誰であっても殺人事件の報道では「一人の尊い生命が奪われた痛ましさ」「殺人は絶対に許されることではない」「亡く立った人の家族や友人の悲しみ」等に言及した報道が「殺人の事実とセット」で積極的になされることを期待して止みません。

▲「マラソン大会」に向けての試走（５年生）

本校では、全ての教育活動はもとより、主に徳育科の授業を
生命の尊さ・かけがえのなさ」「善悪の判断」「いじ
めを許さない」などの価値について繰り返し指導し、子供たち
教育に力を尽くしています。各御家庭におかれましても
視点でお子さんを教え導いてくださるよう、お願い申し
上げます。